

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

スペイン・クラシック音楽界の
レジェンドが夢の競演
ふたりの巨匠が奏でる“人生”を聴く!

Spain Maestros

円熟のタクトが冴えわたる76歳のマエストロ
《指揮》ヘスス・ロペス・コボス
Jesús López-Cobos

©Georges Braunschweig

生きる喜び!
極上のスペイン音楽。

スペインを代表する83歳の国宝級ピアニスト
《ピアノ》ホアキン・アチュカロ
Joaquín Achúcarro

©Jean-Baptiste Millot

シャブリエ
狂詩曲「スペイン」

Chabrier: Rapsodie "España"

ファリャ
交響的印象「スペインの庭の夜」

Falla: Nights in the Gardens of Spain

アルベニス「イベリア」から
(アルボス編) “喚起” “港” “セビリアの聖体祭”
“トリアーナ” “エル・アルバイシン”

Albéniz(arr.Arbos): Evocación, El Puerto, Fête Dieu à Séville,
Triana, El Albaicín, from "Iberia"

トゥリーナ
交響詩「幻想舞曲集」作品22

Turina: Danzas fantásticas, op.22

読売日本交響楽団 第596回 名曲シリーズ

2016年 9/16 (金) 19時開演
サントリーホール

Popular Series No. 596

Friday, 16th September 2016 19:00 / Suntory Hall

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥3,600

コンサートマスター 小森谷 巧

Concertmaster: Takumi Komoriya

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時~18時・年中無休) <http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

Hibiki to the World
SUNTORY HALL

スペインの巨匠ふたりが、東京の夜を熱くする！

“情熱の国”スペインの音楽をたっぷりご堪能いただく一夜。

指揮は、76歳の今も世界各地で活躍するスペインの巨匠ヘスス・ロペス＝コボス。日本では、1987年にベルリン・ドイツ・オペラを率いて、ワーグナー「ニーベルングの指環」全曲を指揮したことが語り草になっている。読響に初登場となる今回、得意の“お国もの”のスペイン音楽で練達の手腕を発揮する。

シャブリエの狂詩曲「スペイン」で華やかに開幕。フランスの作曲家シャブリエが、スペインに滞在したときの印象をもとに書き上げた作品で、心踊るリズムや鮮やかな響きが聴き手の心をひきつける。

続くファリャの交響的印象「スペインの庭の夜」は、初演から100周年を祝う選曲。ピアノ独奏を務めるのは、現在83歳のスペインの“伝説的ピアニスト”ホアキン・アチュカロ。読響には1990年以来、26年ぶりの登場だ。2010年にはラトル指揮のベルリン・フィルと「スペインの庭の夜」を演奏して絶賛され、そのDVDも大きな話題を呼んだ。ラトルは、アチュカロのレガートの如く溶け合う音を「あの独特な音色は、今ではほんの僅かなピアニストしか持っていない」と称えている。ひたすらピアノだけに打ち込んで来た巨匠の至芸を、存分に味わっていただきたい。

後半はまず、アルベニス最晩年のピアノ曲「イベリア」の管弦楽版（アルボス編曲）から、「セビリアの聖体祭」「トリアーナ」など5曲をお届けする。スペイン民謡の親しみやすい旋律と現地の独特なリズムが用いられ、舞曲では多様な打楽器も活躍する。巨匠ロペス＝コボスの切れ味良い指揮が、多彩なサウンドを引き出すだろう。

最後を飾るのは、トゥリーナの交響詩「幻想舞曲集」。「狂熱」「夢想」「饗宴」の3つの曲から成り、日本では吹奏楽で有名な人気作品だ。金管楽器が咆哮するドラマティックな曲想を特徴とし、特にティンパニの連打で始まる「饗宴」では、常に高いテンションで音楽が進んで、興奮は最高潮に達する。

スペインの熱い血がたぎる巨匠のタクトが、東京の夜を熱くする！



©Jean-Baptiste Millot

ホアキン・アチュカロ(ピアノ)

世界の檜舞台で活躍してきたスペインの現代最高峰のピアニスト。1932年、ビルバオ生まれ。早くからスペイン、フランス、イタリアなどの国際コンクールで入賞。以後、世界の主要コンサートホールで演奏を続けてきた。これまでアバド、デイヴィス、メータ、小澤征爾、シャイー、ラトルらの指揮で、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、シカゴ響、ベルリン・ドイツ響、フランス国立管、ミラノ・スカラ座管、BBC響などと共演。

数多くの録音を残しており、近年はロドリゴのピアノ協奏曲をリリースして話題を呼んだ。映像には、ラトル指揮ベルリン・フィルとの共演を収録したDVD「ファリャ & フレンツ」などがある。

スペインでは最も権威ある芸術賞の数々を受賞しており、2003年にはスペイン国王フアン・カルロス1世から国家功労十字勲章を授与された。

Piano **Joaquín Achúcarro**

Conductor **Jesús López-Cobos**



©Javier del Real

ヘスス・ロペス＝コボス(指揮)

オペラとコンサートの両方の分野において欧米で活躍するスペインの巨匠。ベルリン・ドイツ・オペラの音楽総監督、ローザヌス室内管、スペイン国立管、マドリッド王立歌劇場の音楽監督などを歴任し、現在は、1986年から2001年まで音楽監督を務めたシンシナティ響とカスティリャ・イ・レオン響の名誉指揮者を務めている。

ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、ウィーン響、ベルリン放送響、ロンドン・フィルなど、各国の一流楽団に数多く客演している。オペラでは、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ、メトロポリタン・オペラをはじめ、世界の名門歌劇場に登場している。2016/2017シーズンにはシカゴ響、ウィーン国立歌劇場、ローマ歌劇場などへの客演が予定されている。

録音では、テラーク・レーベルをはじめ、デッカ/ロンドンなどから数多くのCDがリリースされており、多くの賞を受賞している。

東京二期会
オペラ公演

ヘスス・ロペス＝コボス × 読響が演奏

ライブツィヒ歌劇場との提携公演

R.ワーグナー

《トリスタンとイゾルデ》

(全3幕 字幕付ドイツ語上演)

[指揮]ヘスス・ロペス＝コボス [演出]ヴィリー・デッカー

[管弦楽]読売日本交響楽団

9/10^土・11^日・17^土・18^日 14時開演

東京文化会館大ホール

主催：東京二期会 共催：読売日本交響楽団

S¥15,000 A¥13,000 B¥10,000 C¥8,000
D¥6,000 学生¥2,000

チケットスペース **03-3234-9999**
二期会チケットセンター **03-3796-1831**

★ 読売日本交響楽団 第596回 名曲シリーズ

2016年 9/16 金 19時開演

サントリーホール

S¥7,500 / A¥6,500 / B¥5,500 / C¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

サントリーホール30周年
記念参加公演

Hibiki to the World

SUNTORY HALL

読売

■ 学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■ 都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■ 未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.or.jp/>

* 座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。* 郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド：チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017